

| | | | |
|----------|---|------|----------------------------------|
| 科目名 | 公務員養成論 | 科目分類 | ■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ） |
| | | | 経済学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択 |
| 英文表記 | Public Service Learning | 開講年次 | ■1年 ■2年 ■3年 ■4年 |
| ふりがな | むらなか たかし | 開講期間 | ■前期 □後期 □通年 □集中 |
| 担当者名 | 村中 孝司 | 修得単位 | 2単位 |
| 授業のテーマ | 公務員になるためには | | |
| 授業概要 | 公務員として採用されるためには、社会における一般的な教養のほか、人間社会でのさまざまな問題に対して解決していく能力が必要となってくる。本科目では、公務員を目指す学生諸君にとって、公務員として働くこととは何か、働き方、姿勢、態度、日常生活、社会などさまざまな視点から考えてもらう。 | | |
| 到達目標 | 社会・経済のしくみの中で公的な役割を担う人材の育成を行う。また、社会人としての責任を十分に果たすことのできるような資質の養成を行うことを目的としている。本科目では、卒業後の進路として公務員を志す者を対象とする。 | | |
| 授業時間外の学習 | 公務員や公務員試験、民間企業試験について日ごろから調べておくこと。公務員試験対策の方向性を確認し、学習スタイルの確立を図ることが重要である。 | | |
| 履修条件 | 公務員（大卒程度）を目指す学生。 | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1回 | ガイダンス 授業内容の説明、「働く」とは何か、公務員とは何か | | |
| 第2回 | 自治体職員の働き方 「いい仕事」と「こなす仕事」、働き方改革と自己実現 | | |
| 第3回 | 求められる働き方の探求 求められる働き方とは、「働く」の意味とは | | |
| 第4回 | 意識改革と発想転換 働き方の見直し、余力をつくる、一步を踏み出す働き方 | | |
| 第5回 | 求められる能力① 問題を発見する能力 | | |
| 第6回 | 求められる能力② 問題解決のための政策を形成する能力 | | |
| 第7回 | 実践① 公務員として働くための問題の発見と解決方法の提案 | | |
| 第8回 | 実践② 公務員として働くための問題解決と提案 | | |
| 第9回 | 提案実現 合意形成を得る手法、限界質量の理論に学ぶ | | |
| 第10回 | 実践③ レポート（報告書）の作成手順、手法 | | |
| 第11回 | 実践④ プレゼンテーション | | |
| 第12回 | 実践⑤ 討論・グループディスカッション | | |
| 第13回 | 自治体職員の仕事のおもしろさと可能性 | | |
| 第14回 | 公務員採用試験とは何か、何が求められているか | | |
| 第15回 | 筆記試験と面接について | | |
| 第16回 | 定期試験 | | |
| テキスト | 講義中に紹介する | | |
| 参考文献・資料 | 嶋田暁文『みんなが幸せになるための公務員の働き方』学芸出版社、井上繁『地方公務員になるには』、『国会公務員になるには』 | | |
| 成績評価の方法 | 試験（50%）、レポート・課題提出・能動的参加（50%） 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合は試験をうけることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 | | |

| | |
|-----------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であるかを確認するため、授業中に小テスト等を行います。 ・レポート課題は授業内又は掲示板で指示します。 <p><成績評価の基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度以降入学者 秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下) ・平成 27 年度以前入学者 優(100～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下) |
| オフィスアワー | 火曜 14:40～16:10、金曜 13:00～14:30 |
| 学生へのメッセージ | 能動的な授業への出席が必要です。ただ話を聞いているだけの授業態度は改めなければなりません。 |